

議会だより



新庁舎建設に係る特別委員会
(令和3年2月15日開催)

議案審議結果等（3月定例会、2月臨時会）……………	2～4
一般質問……………	5～10
委員会報告、全員協議会……………	11～13
議会の動き、6月定例会の予定等……………	14

令和3年度当初予算可決！

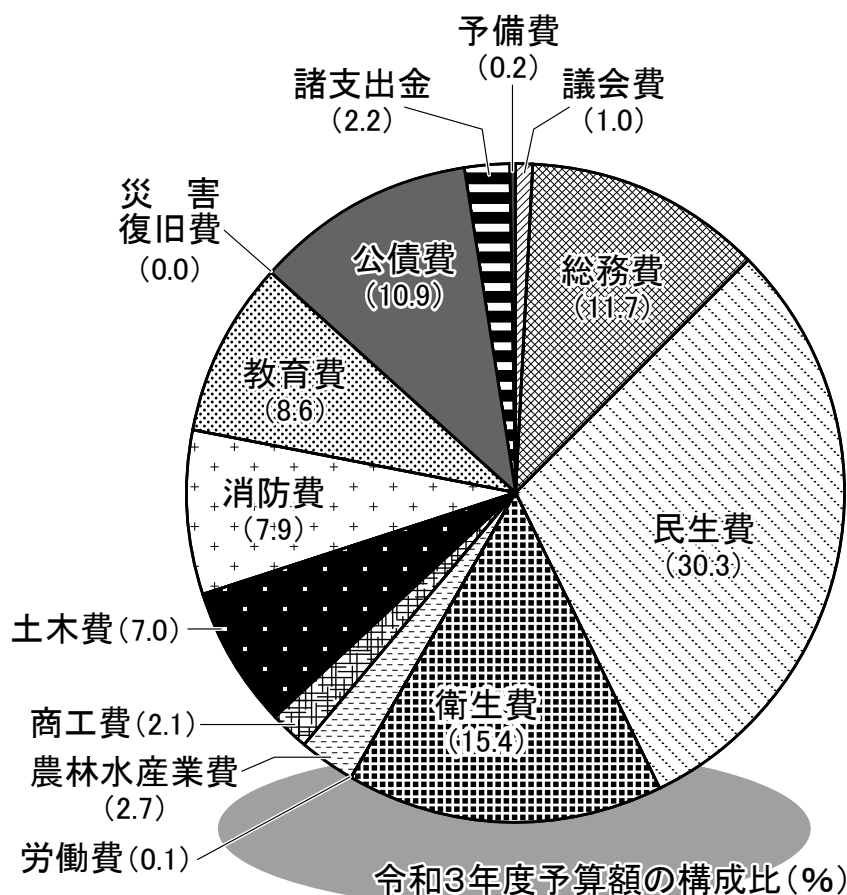
3 月 定 例 会

令和3年第2回3月定例会は、3月2日から3月17日までの16日間の会期で行われました。
町長から、報告事項1件、令和2年度補正予算4件、令和3年度当初予算7件、条例改正11件、
人事案件2件、その他の案件5件が提出され、それぞれ原案どおり可決・同意・適任としました。
また、議員から発議1件が提出され、原案どおり可決しました。

令和3年度予算の内訳

(議案第7～13号)

会 計 名	本年度予算額	前年度予算額	前年度対比
一 般 会 計	64億7,500万円	68億円	4.8% 減
国民健康保険事業	16億2,786万円	17億961万円	4.8% 減
後期高齢者医療	1億8,558万円	1億9,371万円	4.2% 減
介護保険事業	17億6,282万円	17億7,855万円	0.9% 減
介護サービス事業	871万円	865万円	0.7% 増
下水道事業	3,006万円	2,916万円	3% 増
水道事業			
収益的支出	2億6,600万円	2億6,700万円	0.4% 減
資本的支出	1億7,170万円	1億3,110万円	30.9% 増



(単位:千円)

議会費	67,616
総務費	756,130
民生費	1,960,179
衛生費	998,261
労働費	7,527
農林水産業費	177,331
商工費	136,016
土木費	450,274
消防費	512,078
教育費	554,095
災害復旧費	1
公債費	703,052
諸支出金	142,440
予備費	10,000

3月定例会の議案審議結果

報告第1号	専決処分した事項の報告（物損事故に係る損害賠償についての和解）	—
議案第3号	令和2年度一般会計補正予算（第10号）	全員賛成可決
議案第4号	令和2年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）	全員賛成可決
議案第5号	令和2年度介護保険事業特別会計補正予算（第3号）	全員賛成可決
議案第6号	令和2年度水道事業特別会計補正予算（第3号）	全員賛成可決
議案第7号	令和3年度一般会計予算 賛成多数可決 ※採決結果 （賛成6名）江渡議員、岡山議員、高沢議員、杉山議員、戸澤議員、大湊議員 （反対5名）高田議員、中谷議員、古林議員、野坂議員、赤垣議員	
議案第8号	令和3年度国民健康保険事業特別会計予算	全員賛成可決
議案第9号	令和3年度後期高齢者医療特別会計予算	全員賛成可決
議案第10号	令和3年度介護保険事業特別会計予算	全員賛成可決
議案第11号	令和3年度介護サービス事業特別会計予算	全員賛成可決
議案第12号	令和3年度下水道事業特別会計予算	全員賛成可決
議案第13号	令和3年度水道事業特別会計予算	全員賛成可決
議案第14号	課設置条例等の一部を改正する条例	全員賛成可決
議案第15号	職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例	全員賛成可決
議案第16号	固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例	全員賛成可決
議案第17号	介護保険条例の一部を改正する条例	全員賛成可決
議案第18号	指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営等に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	全員賛成可決
議案第19号	指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	全員賛成可決
議案第20号	指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例	全員賛成可決
議案第21号	図書館設置条例の一部を改正する条例	全員賛成可決
議案第22号	育苗施設条例の一部を改正する条例	全員賛成可決
議案第23号	観光物産PRセンター条例の一部を改正する条例	全員賛成可決
議案第24号	町道の構造の技術的基準等を定める条例の一部を改正する条例	全員賛成可決
議案第25号	定住自立圏の形成に関する協定の一部を変更する協定の締結	全員賛成可決
議案第26号	青森県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び青森県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更並びに青森県市町村総合事務組合規約の変更	全員賛成可決
議案第27号	青森県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び青森県市町村職員退職手当組合規約の変更	全員賛成可決
議案第28号	財産の処分	全員賛成可決
議案第29号	和解について	全員賛成可決
議案第30号	固定資産評価審査委員会委員の選任	全員賛成同意
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦	適任と答申

令和2年度 補正予算

〈一般会計〉

（第10号）

補 正 額 **総 額**
 $\triangle$ 2億3,200万円 $\bigcirc$ 85億2,100万円
 [新庁舎建設費の減など]

〈特別会計〉

国民健康保険事業

（第3号）

$\triangle$ 9,178万円 $\bigcirc$ 16億3,126万円
 [一般被保険者療養給付費の減など]

介護保険事業

（第3号）

$\triangle$ 8,128万円 $\bigcirc$ 17億6,473万円
 [施設介護サービス給付費の減など]

水道事業

（第3号）

●収益的支出 予算の総額(2億6,700万円)に変更はなく、支出において
 営業費用8万円を増額し、同額を予備費から減額調整しました。

議案第30号 固定資産評価審査委員会委員の選任

固定資産評価審査委員会委員の 今井 実 氏の任期が令和3年3月31日に満了することから、新たに 藤谷大樹 氏の選任に同意しました。

諮問第1号 人権擁護委員候補者の推薦

人権擁護委員の 鈴木幹人 氏、濱田美野 氏、若山フミ子 氏、熊谷正樹 氏の任期が令和3年6月30日に満了することから、鈴木幹人 氏、濱田美野 氏を再推薦し、新たに 杉山光子 氏、野呂信幸 氏の推薦に適任と同意しました。

2月臨時会の審議結果

◆承認第1号 専決処分した事項の報告及び承認

(令和2年度野辺地町一般会計補正予算(第8号)「全国的な大雪の除排雪に係る予算措置」)

承認

◆議案第1号 令和2年度野辺地町一般会計補正予算(第9号)

(新型コロナウイルスワクチン接種対策事業)

全員賛成可決

◆議案第2号 工事の請負契約の件

(野辺地中学校エアコン機器等設置工事)

全員賛成可決



6名の議員から「一般質問」

登壇順で掲載します。

質 問 者		質 問 事 項	
江渡 正樹 議員	問1	第6次まちづくり総合計画の進め方を伺う！ 新型コロナワクチン接種への進捗状況は？	
	問2		
中谷 謙一 議員	問1	これまでの新庁舎建設事業の検証は？ 町立体育館の延命対策を伺う！	
	問2		
赤垣 義憲 議員	問1	町の財政見通しを伺う！ 小中一貫校への考えは？	
	問2		
高沢 陽子 議員	問1	病児病後児保育の検討は？ 新型コロナワクチン接種の見通しは？	
	問2		
大湊 敏行 議員	問	新設予定の小学校について伺う！	
野坂 充 議員	問1	地元出身選手への応援方針は？ 柴崎岳選手の出身地としてのPRは？	
	問2		

一般質問

町の行政全般に関し、執行者所見や疑義について質問するもの。質問時間は1名に対し、質問答弁を含め60分以内で行われ、再質問からは一問一答方式が採用されています。一般質問など、定例会の会議録は議会事務局で閲覧が可能です。閲覧希望の方は議会事務局まで。

町政のことが聞きたい！



えと まさき
江渡 正樹議員

問1 第6次まちづくり総合計画の進め方を伺う！

①第6次まちづくり総合計画を町民・行政一体となつて進め

ていくに当たり、事業毎にPDCAサイクル（計画→実行→

評価→改善）の結果を基に、ローリング（修正・補完）していく事が極めて

重要であると考えますが、進め方を伺います。

町長 第5次まちづくり総合計画では、後期基本計画に定めた6つの基本目標に沿って進められている町の各事務事業がどれだけ進捗しているのか、必要性、効率性、公平性、協働性はあるのか等について、各担当課で内部評価を行い、それを基に町内の産・学・官・金・労で組織された「まち・ひと・しごと創生有識者会議」を設置して外部評価を実施してきたところです。

毎年の評価結果は町ホームページでお知らせしておりましたが、PDCAの結果がローリングしているか不明確であり、分かりにくい評価であったことは反省すべき点であると考えております。

このことから、第6次まちづくり総合計画では、確実なPDCAの検証と、町民に分かりやすい事業評価を展開していきながら、「未来につなげる幸せのまち のへじ」の実現に向けた取り組みを行ってまいりたいと考えています。



問2 新型コロナワクチン接種への進捗状況は？

新型コロナワクチン接種は自治体同士が競い合うものではなく、当町らしく丁寧に着実に実施することが肝要です。ワクチン接種に向けての進捗状況と今後の見通しを伺います。

町長 このワクチン接種は、希望される方々に確実に迅速に接種していただけるよう体制を整備していくことが重要であり、感染を食い止めるための国の最重要プロジェクトとなっております。そのため当町においても町民の皆様にはしっかりと情報提供を行い、納得して安全に接種していただくことが大切であると考え、現在その体制づくりを進めているところです。

広報のへじ3月号の特集で御説明しているとおり「かかりつけ医での接種体制」「おおまかなスケジュール」「接種の流れ」などが決定しており、今後経費を含め具体的な体制が確立しましたら、しっかりと御説明させていただきますこととしています。

また、今後の見通しですが、町民の皆様からのお問い合わせや相談対応、予約に関するまで一連の対応を行う「コールセンター」を健康増進センター内に設置し、今月末頃に業務をスタートさせたいと考えているほか、町内各医療機関における体制の確認や、接種場所への移動困難者への支援策等について協議・検討を進めていくこととしております。

ワクチン供給や接種に係る国の方針やスケジュールが日々動いており、その都度軌道修正や体制の変更等に奔走している状況ではありますが、より適切な方法で、町民の皆様にはワクチン接種を行っていただけるよう努力してまいりますので、御理解をお願いいたします。





な か や けんいち
中谷 謙一議員

問1 これまでの新庁舎建設事業の検証は？

ファクトチェック



①可能な限り事業費を少なくする事業プランだったのか。

〔町長〕 設定された条件の中で、機能的・効率的であると同時に、できるだけ低いコストで実施するよう努めております。

②三階建て庁舎だが、二階建てとのメリットの比較は十分行ってきたのか。

〔町長〕 平面計画が大きくなると、柱や杭の本数が増えコストが上がることとなります。3階建ては2階建てに比べ面積が小さい分、これらの本数が抑えられ、基礎工事も安く抑えられることから、3階建てのメリットは十分あると考えています。

③建設候補地の一部が購入できなかったが、それに伴うプランの見直しは必要なかったのか。

〔町長〕 取得した土地の面積と、現役場敷地を併せた範囲で、基本構想に沿った建設計画を進めることは可能と判断しています。

④設計をプロポーザル方式にし、経費の縮減を図ると説明していたが前より高額になったのでは。

〔町長〕 設計費だけを比べると確かに人件費等の値上がりにより上がっておりますが、町が説明しているのは、あくまで全体事業費で経費の縮減を図るという意味であり、現在建築工事や土木工事、鉄塔移設に係る機能や設備等の見直しにおいて、事業費の抑制に努めているところであります。

⑤歩道上に駐車させるような設計が進んでいるが問題ないのか。

〔町長〕 平常時はなるべく駐車しないよう管理し、冬期間の除排雪や災害時、駐車場混雑時などに一時的に使用可能なスペースと考えております。

問2 町立体育館の延命対策を伺う！



①現時点の課題や問題点は。

〔町長〕 築44年を経過していることから、経年に伴う施設並びに設備の老朽化が課題となっております。

②具体的な延命対策は。

〔町長〕 建物の定期検査における指摘箇所の確認をはじめ、職員による施設の目視点検、状況の把握や修繕箇所等の洗い出しを行ったほか、設備保守点検業務における指摘事項も含め、現在施設の延命計画としてまとめているところであります。

③夏場の湿度や室温対策は。

〔町長〕 施設に設置されている換気システムの利用と、大型ファンを併用した空氣の循環や対策を講じていきたいと考えています。

④冬場の暖房や結露対策は。

〔町長〕 助成金で購入した暖房器具を活用していくこととしています。

⑤照度は競技に適切な明るさを確保できているのか。

〔町長〕 現在使用している水銀灯が令和2年12月をもって製造及び輸入が禁止となったことから、将来的にLED化することとし、併せて照度の確保を検討してまいりたいと考えています。

⑥雨漏りは早急に修理が必要では。

〔町長〕 雪解け後に屋根の状態を確認しその結果を見て対応を検討してまいりたいと考えています。

⑦トレーニングや競技環境づくりを充実させていく考えは。

〔町長〕 先ずは現有設備の延命を図ることを基本とし、現在のトレーニング、競技環境の維持に努めていきたいと考えています。

⑧今後新総合体育館建設を行うのであれば、いつ頃を目途にしているのか。

〔町長〕 ゆくゆくは建設しなければならないという認識は持っておりますが、数十億円規模の事業費となることから、その財源確保や継続的に町が担う事務事業と併せて検討を進めていかなければと考えております。



あかがき 赤垣 よしのり 義議員

問1 町の財政見通しを伺う！

昨年11月20日開催の「全員協議会」で配布された資料「財政見通しについて」に関して、次の3点を伺います。

①「新庁舎建設に関する借入れの返済に新庁舎建設基金及び地方交付税を充てる」旨が記載されています。これまで町は「建設費及び借入返済の全額に新庁舎建設基金を充当することから、一般会計に影響はない」と説明してきました。どちらが本当ですか。

町長 新庁舎建設の財源となる「地方債」及び「地方債の償還に対する基準財政需要額算入分」を除いた経費の全てに充当するという意味であり、一部誤解を招く説明があったかもしれませんが、新庁舎建設を行うことで町財政を圧迫することはないという説明に変わりはありません。

②地方交付税が年々減少傾向であるのに対し、公債費に係る交付税算入は増額が見込まれています。要するに地方交付税のうち、借入返済に充てるお金は増え、経費や事業に充てるお金は減ります。令和6年度には、使途が自由な財源は約3億700万円も減少する見通しとなっています。この危機的状況に対し、町ではどのような準備をしていますか。

町長 人口減少した場合、基準財政需要額の減少は避けられないと考えています。町税の減少が見込まれるものの、エネルギー関連など一部の税の増加により、全体では若干増える見込みで基準財政収入額への算入額も増加します。結果的に普通交付税が減となり、税収が増えることから、一概に危機的状況とは言えませんが、普通交付税が減ることは楽観視できないため、危機感をもって安定的な財政運営に努めてまいります。

③令和6年度までの実質収支額は、いずれもプラス収支を見込んでいますが、

財政調整基金取崩額は毎年1億円を超えており、しかもその基金残高は令和6年度には約300万円にまで減少します。令和7年度には繰入可能な基金は約300万円のため、赤字に陥ることは容易に想像できます。この令和7年度の収支をどのように想定していますか。

町長 現在の推計方法で仮に令和7年度分を算出すると、1億円を超えるような財源不足に陥り、これを補う財政調整基金も不足していると推測されます。この財政見通しは、あくまで地方財政対策などの現行制度に変更がなく、現在の町の政策水準を維持した場合の見通しを示しています。数年後には財政状況が厳しくなるという推計ですが、実際には赤字にならないよう予算編成等で事業の精査、歳入歳出の両面にわたる対策を講じ、財政運営に取り組んでまいります。

問2 小中一貫校への考えは？

①小学校統廃合計画の素案によれば、保護者からの意見の一部に小中一貫校を望む声があったとのこと。一貫校とした場合のメリットデメリットを伺います。

教育長 小中一貫校教育とは、小中連携教育のうち、小・中学校段階の教員が目指す子供像を共有し、9年間を通じた教育課程を編成することで、系統的な教育を目指す教育であります。

まずメリットでは、「義務教育9年間を見通した学校教育目標の設定」や「系統性と連続性を強化したカリキュラムの編成及び実施」「中一ギャップの緩和（現行の学年の区切りである6・3制とは異なる4・3・2制などの柔軟な設定）」などがあります。

デメリットでは、「9年間の系統性に配慮し、一体的に実施する過程で生じる教職員への負担」などの課題が挙げられています。いずれにしても今後実施いたします住民説明会での保護者や地域住民の方々からの御意見を含め、どのような教育環境が子供たちに最善なのか、様々な角度から検討してまいります。





たかさわ ようこ
高沢 陽子議員

問1 病児・病後児保育の検討は？

平成30年度に町が実施した「子育て支援ニーズ調査」の結果では、保護者から病後児保育を望む声が多数記載されました。『病児・病後児受入施設の設置』は安心して子育てをしたい保護者にとつて、子育ての負担軽減や職業生活の継続のほか、子育てにやさしい町の実現や少子化対策にも有効と考えます。町では病後児保育の実施を検討しているのか。



町長 この課題につきましては、これまで実施に向けて検討を重ねてまいりました。直近では昨年に保育所等の町内すべての子育て関連事業所が参集した会議において御相談し、御意見を求めましたが、実現は難しいとのことでした。理由としましては、町内に常勤の小児科医がいないことや、職員の確保、スペースの問題がネックとなっていると伺っております。また、町内の医療機関の一部にも御相談しましたが、同様の回答でした。

町としては、今後も町内の社会資源を有効に活用しながら、各種の問題をクリアできるよう引き続き実現に向けた検討を進めてまいります。

病後児保育

病気やケガが安定した回復期にある子どもを対象とし、病後児保育の利用を医師が認めた場合等に、看護師がいる保育所併設施設などで預かるもの。

問2 新型コロナワクチン接種の見通しは？

①広報のへじ3月号にも掲載された、接種体制や時期、副反応などへの対応に変更はないか。

町長 現時点で大きな変更点はございません。

②病気による入院や体調不良など、個別の理由により当日接種できなかった場合は。

町長 ワクチン接種は秋頃まで継続する予定としておりますので、改めて予約して接種いただくこととなります。

③免許返納などにより、接種場所へ行けない方への支援対策は。

町長 町内の主要拠点と、各接種医療機関を結ぶ無料バスの運行等を現在検討しております。

④接種医療機関での三密対策は。

町長 1時間ごとに5人から10人の方への接種を行うことで、通常診療への影響を少なくするとともに、三密も回避するといった対策を検討しているところです。

⑤16歳以下の未成年者を接種対象外としている理由は。

町長 国で薬事承認されているファイザー社のワクチンについては、16歳に満たない方は接種の対象外となっております。これは現時点の科学的知見に基づいて決められていることであり、将来的には他社のワクチンも含めて接種の対象年齢が拡大する可能性もあるとのことでした。

⑥報道では妊婦はワクチン接種の努力義務から除外とされているが。

町長 妊娠している方、妊娠している可能性のある方、いずれもこのワクチンの接種は受けることができますが、安全性に関するデータが限られているため、接種のメリットやデメリットをよく検討して判断いただく意味で接種の努力義務から除外しているという状況です。

いずれにいたしましても町からの接種の御案内の際は、納得して接種の判断をいただけるようしっかりとした情報提供に努めてまいります。





おおみなと 大湊 としゆき 敏行議員

問 新設予定の小学校について伺う！

学校

① 本年2月25日に開催の全員協議会で示された野辺地小学校統廃合基本計画（素案）では、令和5年4月に馬門小学校を

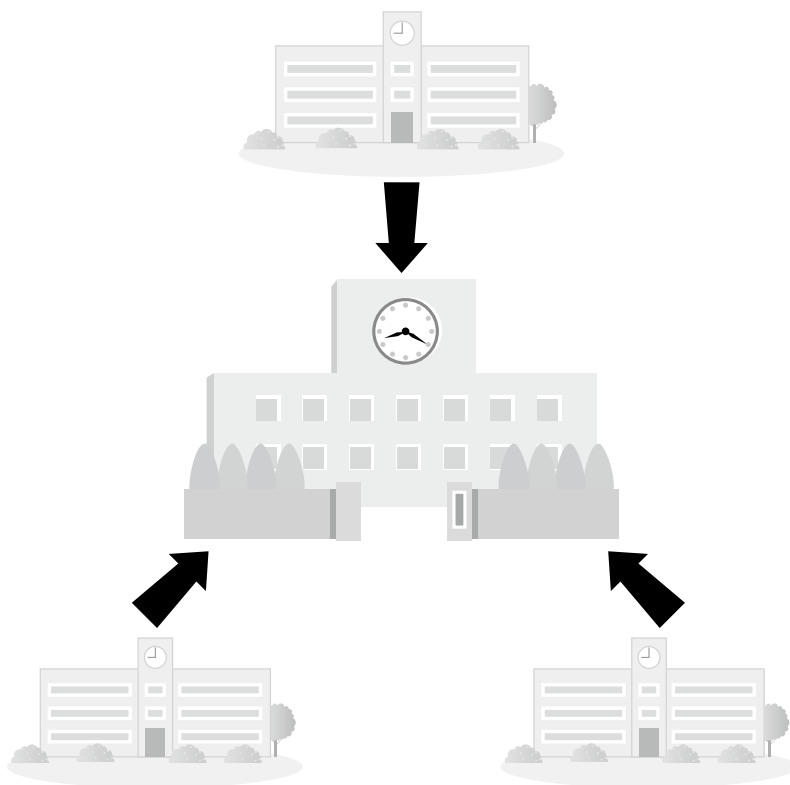
野辺地小学校に統合し、現在の野辺地小学校敷地内に校舎を新築して、令和7年4月に若葉小学校を野辺地小学校に統合するという計画案でした。

この校舎の新築場所については、現在の野辺地中学校敷地内に新築し、中学校南側町有地及びえぼしグラウンドに小中学校運動場を建設する場合には様々なメリットが考えられることから、建設場所の候補地は総合的に比較検討すべきでは。

【教育長】 中学校のグラウンドに新小学校校舎と体育館を建設することになれば、別の場所に中学校のグラウンドを求めることとなり、仮にえぼしグラウンドをその候補地とする場合、移動の安全を確保するため校舎側との跨線橋の設置が必須で、このことはJ・Rとの協議次第という不確定な側面もあります。いずれにいたしましても、今後予定している保護者・住民説明会において町の考えを御説明させていただきながら、御意見をお伺いしたいと考えています。

② 私は現在の野辺地小学校敷地内に将来町立体育館を建設し、愛宕公園を含めた一帯を新たな町民の集いの場として整備したらどうかと思いますが、この点についてはどう考えるか。

【教育長】 大湊議員の思いは野辺地小学校の敷地内に、統合小学校の新校舎は建設しないことを前提にしているものと推察いたします。しかしながら、「野辺地町立小学校統廃合基本計画（素案）」の中では、新校舎の建設場所として現在の野辺地小学校敷地内をその候補地に提案させていただいておりますので、大湊議員の思いは一つの考えとして受け止めていただきたいと思います。



のざか
野坂みちる
充議員

問1 地元出身選手への応援方針は？



当町出身の横濱汐莉選手が、現在ドイツで行われているノルディックスキー世界選手権に出場されていますが、町民の皆様にながされていません。他市町村では横断幕を庁舎に掲げるなどして地元出身選手を応援していますが、町長は町を挙げての応援はしない方針か。

町長 世界選手権に先立ちフィンランドで開催された世界アンダー23選手権を含め、世界大会に出場した横濱選手の御活躍と御健闘、更にはコロナ禍でトレーニングが思うようにできない状況の中、人知れない厳しいトレーニングの成果が世界大会出場へと繋がったものであり、その努力に対しまして敬意を表すものであります。

御質問の趣旨は、町として配慮が足りないとの御指摘と受け止めておりますが、世界に羽ばたこうとしている選手を応援しないということでは決まてありませんし、横濱選手の世界大会出場に限らず、「全てのスポーツ・携わるスポーツを発展できれば」という気持ちのもと、当町のスポーツ振興を支援していきたいと考えております。

また、広報のへじ4月号には今回の横濱選手の御活躍の結果を掲載予定とされているほか、3月中旬には直接お会いして大会出場のお祝いをはじめ、出

場に至るまでの経緯やトレーニングの内容、来年開催予定である「北京冬季オリンピック」に向けたお話を聞かせいただき、それらを広報のへじ5月号で紹介させていただければと考えています。今後は、本人の意向を踏まえた上で町としての応援を検討してまいりたいと思いますので、御理解をお願いいたします。

問2 柴崎岳選手の出身地としてのPRは？

以前に町長は柴崎岳選手の出身地として当町をPRしていただきたいと発言されましたが、その後の経過は。



町長 町では、今後も引き続き柴崎選手を応援することは勿論のこと、町のPRも含め後援会の皆様方と意見交換を行っているところです。後援会からは、「協力できることがあれば協力していきたい」「公共施設での展示を通じて、柴崎選手が野辺地町出身であることを多くの方々に知っていただきたい」などの御意見をいただいております。

しかしながら、このコロナ禍の状況で人が大勢集まるようなことは困難であるとの御意見も頂戴しておりますので、状況を見極めながら今後の対応を検討していくこととしております。

今後、新型コロナウイルス感染症が収束に向かった暁には、柴崎選手の後援会をはじめ、町民の皆様のお力をお借りしながら、町のPRと柴崎選手の応援に向けた様々な取組を進めてまいりたいと考えています。

総務常任委員会

2月8日

学校教育課

◇小・中学校エアコン機器設置事業の予定

エアコン設置台数は、野辺地小学校23台、若葉小学校26台、馬門小学校8台、野辺地中学校47台を予定。事業費は馬門小学校を除く2小学校で8887万円余り（馬門小学校は移動式エアコンの設置で令和3年度予算で対応）、中学校は8117万円余りを予定。

社会教育・スポーツ課

◇第80回国民スポーツ大会の進捗状況及び予定

令和8年に予定する本大会の開催地に青森県が内定。ハンドボール競技の会場は、少年男子が野辺地高等学校（一部マエダアリーナで実施）、少年女子が青森市マエダアリーナに決定。令和4年度までに準備委員会を設置予定。

◇令和2年度文化賞及びスポーツ賞授与式の予定

新型コロナウイルス感染症対策の一環から、文化賞、スポーツ賞は分散して実施する。

中央公民館

◇図書館視聴覚室等の一般の方への貸出

図書館視聴覚室の有効活用を図るため、4月1日から一般の方への貸出しを実施する。使用料は午前9時から12時30分まで1090円、午後12時30分から17時まで1400円、その他の設備についても有料とする予定。

町民課

◇令和3年度国保事業費納付金額

前年度比較で4683万円余り減の、4億1136万円余り。

◇国保税の減免状況

新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した被保険者に係る

国保税の減免件数は、1月31日現在で12件。

防災安全課

◇国土強靱化地域計画の策定状況

北部上北三町村（野辺地町、横浜町、六ヶ所村）合同で本計画を策定済み。

◇豪雪対策本部関連の状況

豪雪による公共施設の雪害8件、空き家の雪に関する苦情13件。

地域戦略課

◇上十三・十和田湖広域定住自立圏形成協定の一部変更

成年後見制度の利用促進及び医療的ケア児支援のための連携推進を、本協定書に追加する予定。

委員から要望

「コロナ禍により圏域での結婚活動へ対する支援が実施できない状況と思うが、リモートによる実施など新たな取組を検討いただきたい。」

介護・福祉課

◇介護保険条例の改正予定

令和3年度から5年度までの第8期介護保険料の基準額を、前期比較で300円増の6400円とする予定。

◇定住自立圏第2次共生ビジョン新規事業案の概要

①成年後見制度の利用促進に関する事業（案）

事業内容 法律に基づく地方公共団体が講ずる措置の構築・連携を図り、連絡会を設置。

効果 市民後見人の確保及び家庭裁判所等との効率的・効果的な連携が図られる。

②医療的ケア児支援のための連携推進に関する事業（案）

事業内容 関係機関の協議の場を設置し、関連分野の支援を調整するコーディネーターの配置。

効果 社会資源等の効率的活用が図られ、圏域内の医療的ケア児が適切な支援を受けられる。

財政課

◆令和3年度一般会計予算案

歳入歳出総額は64億7500万円。
前年度比較で金額は3億2500万円、率にして4.8%の減。

委員から要望

「経常収支比率改善プロジェクトチームの検討内容がどのように令和3年度予算に反映されたのか説明の場を設けていただきたい。」

総務課

◆赤ちゃん応援特別給付金の申請状況

給付人数29名、未申請2名。未申請者には再度案内済み。

◆ふるさと納税の受入状況等

1月末現在の受入件数は24件、受入額は495万5000円。ふるさと納税ポータルサイト「さとふる」と近日中に契約し、運用開始時期を3月中旬とする予定。

単位：千円

歳入の主なもの		歳出の主なもの	
町 税	1,242,373	人 件 費	1,084,125
地方交付税	2,230,000	扶 助 費	1,107,913
繰 入 金	384,547	公 債 費	703,052
町 債	561,700	補 助 費 等	1,335,261

建設産業保健衛生常任委員会

2月9日

水道課

◆令和3年度の事業予定

「漏水調査業務委託」「量水器取替工事」「排水管新設工事」「馬門ポンプ場送水管布設替工事」を予定。

建設環境課

◆令和3年度の事業予定

「烏帽子岳線舗装補修工事」「駅前広場交通安全施設整備事業」等のほか、合併浄化槽の普及を目的とした浄化槽設置に伴う補助金の交付を予定。

◆港湾敷地の売却状況

売却面積1万1214.38㎡、売却金額7002万9523円で（株）マルイチ横浜と仮契約を締結。

農林水産課

◆令和3年度の事業予定

「新規就農者農業用機械等導入支援事業」「地まきホタテ稚貝放流費補助事業」等を予定。

◆高収益作物次期作支援交付金の交付予定

交付決定者17名、交付額は301万円を予定。

健康づくり課

◆インフルエンザ予防接種全額助成事業（全町民対象）の接種状況

12月末現在の接種件数は7611件、接種率55.1%。

◆新型コロナウイルス感染症対策に係る各種給付金の給付状況

「子育て世帯臨時特別給付金」「子育て世帯応援特別給付金」はいずれも給付率100%。「ひとり親世帯臨時特別給付金」のうち児童扶養手当を受給しているひとり親世帯等への給付率は100%。

委員から要望

「新型コロナウイルスのワクチン接種が行われる際は、町民に対し十分な情報提供と安全な予防接種体制で実施いただきたい。」

地域戦略課

介護・福祉課

いずれも2月8日開催の「総務常任委員会」と同一内容を報告。

新庁舎建設に係る
特別委員会
12月9日・1月20日・
2月15日

12月9日

◇新庁舎設計（基本設計第1回）

新庁舎、車庫・倉庫棟、駐車場を配置した計画配置図及び階段、エレベーターの垂直動線等を配置した計画平面図について、設計業者から説明。

1月20日

◇新庁舎設計（基本設計第2回）

駐輪スペース等を追記した配置図、議場のレイアウト等を追記した平面図等について、設計業者から説明。

議場内傍聴席側に可動式の柵を設置することとした。

2月15日

◇新庁舎設計（基本設計第3回）

委員から提案のあった「車庫棟向きを北側とする」「3階委員会室の面積を減らし書庫の面積を増やす」これらを計画に反映させたいとして、町から説明。このほか、2階町長室の周辺のレイアウト等を変更した配置図や平面図について、町から説明。

委員から要望

「測量及び地質調査の結果を公表いただきたい。」

全員協議会

1月20日

◇新型コロナウイルス感染症ワクチン接種に係る進捗状況

接種場所や接種方式、接種順位などのワクチン接種に係る基本設計について、町から説明。

◇豪雪対策本部の設置等状況

1月12日付けで設置した「豪雪対策本部」の経過報告及び雪害の状況等について、町から説明。

委員から要望

「雪が多い時は新町に購入した土地を堆積場としては。」

町から回答

「来年に向けた検討を今後していきたいと思います。」

2月25日

◇町立小学校統廃合基本計画（素案）策定に係る進捗状況

「町立小学校適正規模・適正配置に関する基本方針」に基づき統廃合を進めるための具体的取組を定める基本計画の素案について、町から説明。また、昨年10月、小学生以下の子供を持つ保護者を対象に実施した統廃合に関するアンケート結果についても、併せて説明。

◇令和3年度組織・機構の見直し

第5次行財政改革大綱に基づき、効率的かつ効果的な行政運営を行うため、組織・機構の見直しを行うことについて、町から説明。

◇北部上北三町村国土強靱地域計画の策定状況

巨大地震や集中豪雨等の大規模自然災害等に備え、地勢や行政組織として密接に連携する横浜町六ヶ所村との共同により策定することとしている「北部上北三町村国土強靱化地域計画」について、町から説明。

3月25日

◇新型コロナウイルスワクチン接種事業

当町の高齢者接種体制について、町から説明。

◇経常収支比率の改善に向けた取組

経常収支比率改善に向けて検討した報告書について、町から説明。

◇令和2年度事務事業の外部評価

まちづくり総合計画、野辺地町まち・ひと・しごと創生総合戦略等の外部評価について、町から説明。

	累積降雪量	
	アメダス	役場中庭
令和元年度	213cm	167cm
令和2年度	237cm	279cm

◆◆◆◆◆ 議会の動き ◆◆◆◆◆

1月8日	広報委員会
20日	全員協議会
22日	新庁舎建設に係る特別委員会 広報委員会 郡町村議会議長会定例会
2月8日	総務常任委員会
9日	建設産業保健衛生常任委員会
10日	議会運営委員会
15日	令和3年第1回臨時会 新庁舎建設に係る特別委員会
17日	青少年育成町民会議
25日	議会運営委員会 全員協議会会 文化・スポーツ賞授与式
26日	県町村議会議長会定期総会
3月2日	令和3年第2回定例会初日 新庁舎建設に係る特別委員会
12日	定例会2日目 (一般質問)
15日	定例会3日目
16日	定例会4日目 (両日、議案審議)
17日	定例会5日目 (議案・発議審議、閉会)
25日	全員協議会

御意見を お聞かせください！

議会広報委員会では、
町民の皆様の御意見をお
聞かせいただき、今後の
議会だよりの編集に反映
して、見やすい紙面づく
りを目指していきたくと
考えています。ぜひ、皆
様の御意見・御要望を、
議会事務局までお寄せく
ださい。

(議会事務局 64-2111)

6月定例会の予定

6月16日(水)

・開会、提案理由等

6月17日(木)

・一般質問

6月18日(金)

・議案審議等、閉会

9時30分開会の予定です。

事情により、日時等に変更が生じる場合があります。

詳しくは議会事務局までお問合せください。

(議会事務局 64-2111)

編集後記

東日本大震災より10年。
本年は東京五輪が開催され
ます。開催の意義として、
「復興五輪」がその一つに
掲げられています。

Jヴィレッジ(福島県楡
葉町、広野町)は、当時、
原発事故の対応拠点として
使用され、「サッカーの聖
地」は見る影もなく、関係
者は落胆しました。しかし、
東京五輪開催が決定し、復
興に向けての希望が出てき
ました。

あるイベントが開催され
たとき、地元の人達が「よ
うやく頑張れ」と言えるよう
になった」と。
コロナ禍で、三密をさけ
る等が当たり前となってい
ますが、心の距離は離れて
はいけないと思います。
「復興」を願い、さらに、
「復興」が「復興」になれ
ばと願います。

(広報委員 野坂)

広報委員会

委員長 高沢 陽子
副委員長 大湊 敏行
委員 高田 光雄
杉山 福行
野坂 充
赤垣 義憲